

1 タクシャ

2 生薬の性状の項の次に次を加える。

3 **確認試験** 本品の粉末1.0 gにジエチルエーテル10 mLを加え、
 4 10分間振り混ぜた後、遠心分離し、上澄液を試料溶液とす
 5 る。また、確認試験用タクシャトリテルペン混合試液を標準
 6 溶液とする。これらの液につき、薄層クロマトグラフィー
 7 〈2.03〉により試験を行う。試料溶液5 μL 及び標準溶液1 μL
 8 を薄層クロマトグラフィー用シリカゲルを用いて調製した薄
 9 層板にスポットする。次に酢酸エチル／ヘキサン／酢酸
 10 (100)混液(10 : 10 : 3)を展開溶媒として約7 cm展開した後、
 11 薄層板を風乾する。これに噴霧用バニリン・硫酸・エタノー
 12 ル試液を均等に噴霧し、105 $^{\circ}\text{C}$ で5分間加熱するとき、試料
 13 溶液から得た数個のスポットのうち少なくとも1個のスポッ
 14 トは、標準溶液から得た3個のスポットのうちの1個のスポ
 15 ットと色調及び R_f 値が等しい。

16 -----

17 9. 41 試薬・試液の項に次を追加する。

18 **タクシャトリテルペン混合試液、確認試験用** 薄層クロマトグ
 19 ラフィー用アリソールA 1 mg, アリソールB 1 mg及びアリ
 20 ソールBモノアセテート 1 mgをメタノール5 mLに溶かす。

21 **アリソールB** $\text{C}_{30}\text{H}_{48}\text{O}_4$ 白色の結晶又は結晶性の粉末で、メ
 22 タノール及びエタノール(99.5)にやや溶けやすく、水にほと
 23 んど溶けない。

24 **確認試験** 本品につき、赤外吸収スペクトル測定法 〈2.25〉
 25 の臭化カリウム錠剤法により測定するとき、波数3420 cm^{-1} 、
 26 2950 cm^{-1} 、1704 cm^{-1} 、1458 cm^{-1} 及び1244 cm^{-1} 付近に吸収
 27 を認める。

28 **純度試験** 類縁物質 本品1 mgをメタノール1 mLに溶かし、
 29 試料溶液とする。この液0.5 mLを正確に量り、メタノール
 30 を加えて正確に25 mLとし、標準溶液とする。これらの液に
 31 つき、薄層クロマトグラフィー 〈2.03〉により試験を行う。
 32 試料溶液及び標準溶液2 μL ずつを薄層クロマトグラフィー
 33 用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする。次に
 34 酢酸エチル／ヘキサン／酢酸混液(10 : 10 : 3)を展開溶媒と
 35 して、約7 cm展開した後、薄層板を風乾する。これに噴霧
 36 用バニリン・硫酸・エタノール試液を均等に噴霧し、105 $^{\circ}\text{C}$
 37 で5分間加熱するとき、試料溶液から得た R_f 値約0.4の主ス
 38 ポット以外のスポットは、標準溶液から得たスポットより濃
 39 くない。

40 **アリソールBモノアセテート** $\text{C}_{32}\text{H}_{50}\text{O}_5$ 白色の結晶又は結晶
 41 性の粉末で、エタノール(99.5)にやや溶けやすく、水にほと
 42 んど溶けない。

43 **確認試験** 本品につき、赤外吸収スペクトル測定法 〈2.25〉
 44 の臭化カリウム錠剤法により測定するとき、波数3480 cm^{-1} 、
 45 2960 cm^{-1} 、1743 cm^{-1} 、1704 cm^{-1} 、1466 cm^{-1} 及び1232 cm^{-1}
 46 付近に吸収を認める。

47 **純度試験** 類縁物質 本品1 mgをメタノール1 mLに溶かし、
 48 試料溶液とする。この液0.5 mLを正確に量り、メタノール
 49 を加えて正確に25 mLとし、標準溶液とする。これらの液に
 50 つき、薄層クロマトグラフィー 〈2.03〉により試験を行う。

51 試料溶液及び標準溶液2 μL ずつを薄層クロマトグラフィー
 52 用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする。次に
 53 酢酸エチル／ヘキサン／酢酸混液(10 : 10 : 3)を展開溶媒と
 54 して、約7 cm展開した後、薄層板を風乾する。これに噴霧
 55 用バニリン・硫酸・エタノール試液を均等に噴霧し、105 $^{\circ}\text{C}$
 56 で5分間加熱するとき、試料溶液から得た R_f 値約0.5の主ス
 57 ポット以外のスポットは、標準溶液から得たスポットより濃
 58 くない。